LDRA
Software Technology

IPA/SEC ESCR コーディング作法ガイド チェックサポート TBvision®

IPA/SEC について

IPA/SEC ESCR コーディング作法ガイドは、情報処理推進機構 ソフトウェア高信頼化センター（Software Reliability Enhancement Center, Information-technology Promotion Agency, Japan）により策定されました。コーディング作法は、高品質なソースコードの開発を支援するためのものです。このガイドは、適正なコーディングの作法を実施するための品質規範となる品質特性を焦点にしています。そして広範に渡る日本国内の組込みシステムソフトウエア開発の経験を参考にし、また “MISRA-C”, “Indian Hill C Style and Coding Standards”, ”GNU coding standards” など既存のベストプラクティスなるたコーディング規約も参照としています。

IPA/SEC ESCR の特徴・利点

このガイドラインは、信頼性（Reliability）、保守性（Maintainability）、移植性（Portability）、効率性（Efficiency）からなる品質特性を特徴としています。それゆえ主に信頼性をターゲットにする MISRA-C:2004 と比較すると、より広い範囲のCプログラミングの課題をカバーしています。そして CERT C セキュアコーディングスタンダードによりカバーされる安全性の課題についても補完しています。他にも命名規則、スタイルなど MISRA-C:2004 や CERT C セキュアコーディングスタンダード では直接対処されていないものにも対応しています。

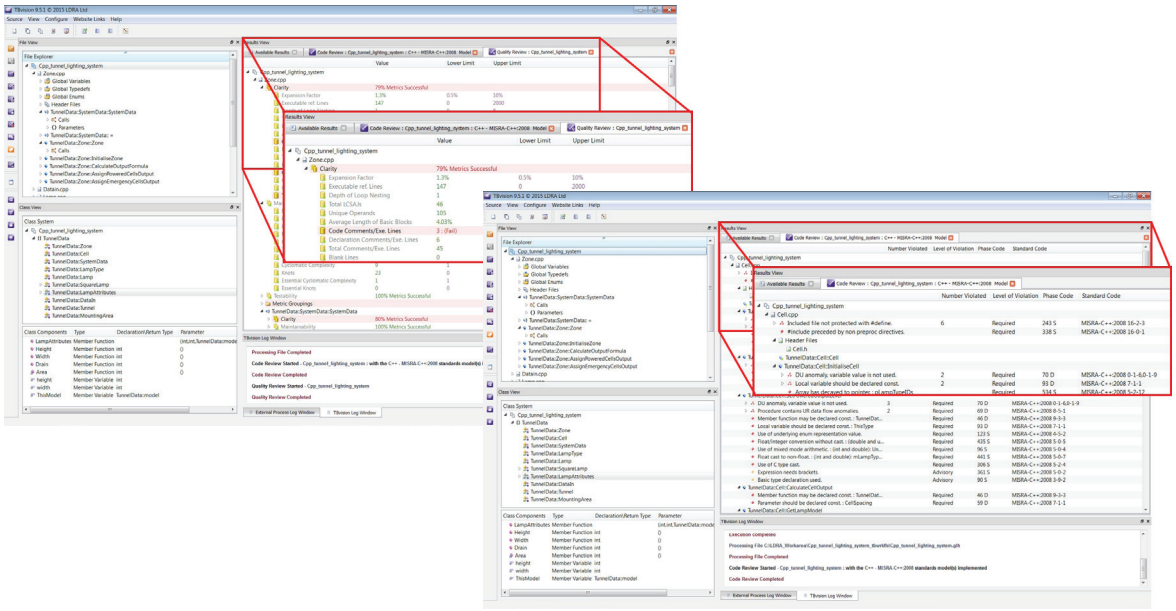
IPA/SEC ESCR をサポート TBvision

LDRA 社は、IPA/SEC ESCR ガイドラインをサポートするために、LDRA ツールスイートを拡張しました。これにより TBvision を用いて、コードがこれらガイドラインに準拠していること、さらには MISRA-C:2004 や CERT C セキュアコーディングスタンダードへの準拠を査定することができます。これら全てのルールセットを満たすソフトウエアは、信頼性、安全性、保守性が極めて高くなると言えるでしょう。
また、IPA/SEC ESCR ガイドラインではコーディング作法に加えて、代表的なプログラミングエラー例x20種をハイライトしています。これら全てのプログラミングエラーは、TBvision で検出可能です。

IPA/SEC ESCR コーディング作法ガイド TBvision® による準拠の自動チェック

LDRA 社 プログラミングスタンダードに対する実績

先進のコード解析能力により、TBvision は MISRA-C:1998, MISRA-C:2004, MISRA C:2012, MISRA-C++:2008, CERT C セキュアコーディングスタンダード に対する準拠のチェ ックをサポートしています。また LDRA社は、ロッキード・マーチン社と協力して JSF++ AV スタンダードを開発し、これに加えて、Meyers Effective C++ や Effective STL coding guidelines など多くのガイドラインをサポートしています。



TBvision は、ホスト/ターゲットなど、あらゆるテスト環境に合わせて設定を行うことができます。
LDRA 社の製品とそのサービスは、高信頼性、安全性を代表する多くの世界的企業に採用されています：DENSO Corporation, IHI Corporation, Lockheed Martin, Honeywell, Raytheon, Elbit Systems, Rockwell Collins, eSysTech, Presagis and NASA.

Contact us for more information or 30 day FREE trial
w: www.ldra.com e: info@ldra.com

© 2015 LDRA Ltd

IPA SEC v3.0 10/15 (Japan)